

坪郷英彦教授退職記念特集号に寄せて

谷部真吾

山口地域社会学会の学術誌『やまぐち地域社会研究』も、本号で第 14 号を迎えることとなりました。本号は、坪郷英彦教授の山口大学人文学部定年退職を記念する特集号として編集されています。

坪郷英彦教授は、平成 11 年に山口大学に赴任して以来、人文学部および東アジア研究科で 17 年間にわたり本学の教育・研究の発展に力を尽くしてこられました。また、『山口県史』の編纂や、山口県や山口市・防府市などでの文化財審議委員としての活動、防府市の商工会議所および教育委員会の後援をうけ、同市内の中학생たちに夢の街づくりをしてもらう事業、「デザインスクールキャラバン in 防府」の実施などを通して、地域社会とも積極的に関わってこられました。さらに、山口地域社会学会におきましては、設立当初からのメンバーとして、学会の運営にも深く携わっていただきました。

本学会は、基本的に山口大学人文学部から独立した組織です。このため、所属が山口大学ではない会員の方々も、多数おられます。にもかかわらず、本号を坪郷英彦教授の退職記念特集号としたのは、会員一同、ぜひこの機会に、坪郷教授の長年にわたるお力添えに何らかの形で報いたいと考えたからです。

本号では、坪郷教授と縁の深い研究者の方々にご寄稿をお願いし、計 20 本もの論文を掲載することができました。論文のテーマ・内容は多岐にわたっており、物質文化論、環境論、伝承・物語論、信仰・祭礼論、理論研究、さらには現代中国の社会・文化現象に関する研究まであります。まさしく、人間の営みを多様な角度から分析することで、深い英知を引き出そうとする民俗学・文化人類学にふさわしい論集になっているといえるでしょう。

最後に、事務局を代表いたしまして、ご寄稿いただきました皆様に心から御礼申し上げますとともに、坪郷英彦教授のますますのご健勝をご祈念申し上げます。